

令和4年度 日置市教育委員会定例会(5月)

○日時：令和4年5月20日(金) 午後1時30分～午後2時30分

○場所：日置市中央公民館 講座室3(3階)

○出席者

委員：内村委員・中島委員・胸元委員・鵜木委員

事務局：久木崎(事務局長兼教育総務課長)・中鉢(学校教育課長)

立和名(社会教育課長)・恒吉(東市来支所教育振興課長)

迫田(日吉支所教育振興課長)・山下(吹上支所教育振興課長)

宮前(教育総務課長補佐)

1 開会

内村委員：皆様こんにちは。奥教育長が療養中ということで、代わりに私が今月の定例会を始めたいと思います。

2 前回議事録の承認

内村委員：まず前回4月の議事録の承認をしていただきたいと思います。修正等がございましたら、お出してください。

(特になし)

よろしいですか。

(特になし)

それでは4月の議事録は承認とさせていただきます。

【前回の議事録承認】

なお署名・押印は、胸元委員と鵜木委員にお願いいたします。

3 委員及び教育長の報告

内村委員：それでは委員及び教育長の報告に入りたいと思います。中島委員からよろしくお願いいたします。

中島委員：それでは報告させていただきます。

5月11日、市教委学校訪問にて花田小学校を訪問させていただきました。校庭の木々はきれいに剪定され、訪問の際、児童たち

の明るい笑顔、「おはようございます」というあいさつで出迎えてもらいました。

冒頭、曾山校長の方から学校経営説明がございまして、教職員数10名、児童生徒数31名、学級編制は3年生4年生、5年生6年生が複式で、全4学級で構成されているということでした。教育目標に「夢に向かって学び続ける子供の育成」、校訓「かしこく やさしく たくましく」、学校経営の重点課題として、確かな学力の育成、豊かな心の育成、健やかな体の育成、地域学校協働活動、整然とした花田小学校づくり、働き方改革への対応、以上6点を教育目標に本年度経営するということでした。学力向上に①学業指導の徹底や個別指導の充実といった基礎・基本の確実な定着②ゴールを意識した学力過程、授業と家庭学習を連動した授業といった少人数・複式指導の充実、を挙げてらっしゃいます。特色ある教育活動として、複式・小規模校の良さを生かす教育の推進、コミュニティ・スクール（地域学校協働活動）と小中一貫教育の推進等について説明をいただきました。

そのあと、授業参観に移り、どの教室もきれいに廊下・教室内が整理整頓され、掲示物も明るく見やすい掲示となっておりました。授業に臨む環境がまずは整っていることを確認したところです。授業のなかで、1年生の算数の授業参観ではICT機器、電子黒板や書画カメラ、またブロックを使った授業が展開されており、9名の児童が目を輝かせて真剣に授業に取り組んでいる姿を目にしました。「数カ月前まではまだ保育園・幼稚園生だったのに」と思いながらも、その成長のすごさと、学校・担任の先生等の指導力に驚いたところです。

3年生4名、4年生4名の複式授業では、英語の授業が展開されており、ALTのジェームスヘンリー先生を交え、英語のイントネーションやリズムに乗った流れで、楽しく授業が展開されていました。5年生5名、6年生4名の複式授業では、算数の授業が展開されており、児童が課題を理解し、発表ができ、また自分の考えがどうだったかというところをしっかりと発言しており、またそれを聞く児童自体が、その主体性と授業の中身を理解して授業が展開されていました。複式授業の中を確認するなかで、複式授業を指導する先生・児童が、真剣に中身を理解して、展開

が難しい複式授業のなかでも、先生たちが色々考えながら授業を展開しているんだなと感銘を受けたところです。

昨今、児童数が減少するなかで、花田小学校の今後5年間の児童推移は30名の維持が予想される、と冒頭の学校長からの経営説明もありました。今回の学校訪問で校内の環境整備はもちろんですが、どの児童も表情が明るく、また先生と児童が真剣に授業に取り組んでいる様子を目にし、保護者・地域の方々もこの学校環境を維持していこうという強い思いが1つになっているから、児童の推移にも反映しているんだなと感じたところです。

なお5月17日、鹿児島県市町村教育委員会連絡協議会定例総会は私用のため欠席させていただきました。以上です。

内村委員：はい。ありがとうございます。それでは鵜木委員をお願いします。

鵜木委員：報告させていただきます。5月11日の花田小学校の訪問につきましては、中島委員から詳しく報告がありましたので割愛させていただきます。

13日に伊集院地域の公民館講座の合同開講式に出席しました。新型コロナの影響もあり、出席者を限定しての開催が続いたなかで、3年ぶりに合同で開催できたことは講師や受講生にとっても喜ばしいことだったと思います。本年度は初心者講座、特別講座、自主講座の85講座に1,275人の登録があり、地域住民の期待に応える講座の開始が待ちどおしいところです。初めに事務局長の開会のあいさつがあり、続いて市長が受講生への激励と感謝の言葉を述べられました。このなかで、自分はエア・ギターをしているが、かつては全国2位の実績があることを語られました。その後、講座を担当する講師の紹介があり、続いて私は講師の代表者である、飯牟礼地区で園芸を指導される鞆國弘さんに委嘱状を交付させていただきました。予定の時刻よりも進行が速く進んだため、講師一人一人からのあいさつと講座に関わるコメントをいただきました。

途中休憩を挟んで、福留隆二さんによる「プラス思考の生き方を求めて」と題した講演が行われました。講師はギターが得意で、講演は中島みゆきの「時代」で始まりました。ギターを始めたきっかけは、高校時代にキャンプで友人がギターで歌う姿に憧れたからだそうです。若い頃、伊集院小学校にも勤務したことがある

ということでした。学校勤務以外は主に社会教育に携わる機会が多く、社会教育を通じて色々な立場の人との出会いがあり、そのことが今の自分を支えていると話され、出会いは学びであると語られました。講演のなかで、プラス思考を支える言葉として、1つめが、「やればできる」ではなく「やらなきゃできない」、2つめが、失敗を恐れる必要はない、なぜなら「みんな初めての人生を経験しているのだから」、3つめが「夢中になるもの」があるだけで、あなたは素敵になれる。ちなみに講師はギターとゴルフに夢中になっているとのことでした。4つめが、実力の差は小さいが「努力の差は大きい」、5つめが、1番大事なものは「1つのことを続ける才能」だとのことでした。お話の途中、「真夜中のギター」「青い山脈」「高原列車は行く」「涙そうそう」をギターに合わせて歌われましたが、選曲は受講生の年齢に合わせてられたのかなと想像しました。

プラス思考のリーダーになるために、ということで、「メンタルが強い人の生き方」から次のような紹介をされました。趣味をもっている人はストレスに強い。何かをするにあたっては、常に最悪のシナリオを描き、不測の事態に備える。あれこれ考えずに1つのことを選んだら、残りはすっぱりと捨ててしまう。体を使うと緊張がほぐれ、運動をしているときはストレスを感じなくなる。悩みはメモしておき、時間が経過した後にもう一度見ると、取るに足りないこととして感じられる。最後に、立場上重要なポストを任せられると自分には荷が重いと感じるかもしれないが、任せる人はできると思って任せるのではなく、この人ならできるかもしれないと期待感を込めて任せている、ということです。集団の中には性格的に合わない人が必ずいますが、そのような場合は「負けるが勝ち」と一歩引いて立ち振る舞う。造花には生花のような鮮やかさはあっても香りが無い、人間も傲慢でいると人から敬遠される。そのため、しなやかに生きることを心掛けるとよい、などと話されました。

講師の名前に記憶があったのですが、どういう関係だったかが思い出せないままだったところ、講師が垂水市教育委員会に勤務していた頃と私が肝付の事務所に勤務していた時期が重なっていたことが分かり、25年間途切れていた記憶の糸が繋がりました。

17日は市町村教育委員会連絡協議会定期総会に出席しました。私が教育委員になって後、コロナの影響で総会自体開催されていなかったため、初めての参加になりました。会は、令和3年度の事業報告及び決算報告、令和4年度の事業計画、市町村別負担金、予算、令和4年度の役員選出、九州地区連合会の理事及び代表者の選出が行われ、奥教育長が副会長に選任されました。議案は全て承認されたということです。

その後、文部科学省から県教育委員会の義務教育課に出向している加藤晴彦氏の「今の時代に新しく求められる教育について」と題した講演がありました。講演のなかで、「令和の時代に求められる教育について考えていきたい」として、最新の教育キーワードである「Society5.0」「ウェル・ビーイング」「エージェンシー」「メタ認知」「納得解」「デジタル・シティズンシップ」「主体的・対話的で深い学び」「個別最適な学びと協働的な学び」「STEAM教育」「アジャイル型政策形成」などと難しい言葉を掲げ話されました。「Society5.0」ではAIやビッグデータでサポートしながら、経済発展と社会的課題の解決を両立する「人間中心の社会」を形成していくこと。「ウェル・ビーイング」では、今の子ども達が社会へ飛び立っていく頃を目標に個人生活の質の向上を図りながら、社会全体の幸せを実現していくこと。現在は予測困難な時代であるからこそ、答えのない問いにどう立ち向かうかが問われている。そのためには「学び」が全ての土台になること。「エージェンシー」は、未知なる環境のなかで指示待ちになるのではなく、自力で進むべき方向を見出す力を育むことが必要であること。「メタ認知」では、具体的な振り返りをしないために学力向上を図れない生徒が多いなかで、1つの具体的な経験から多くのことを学び、それを抽象化・一般化してより多くの具体的事象に当てはめることができる力を高めること。「納得解」では、多様な立場の人が協働的に議論して、お互いが納得する解決策を見出す方法で、人間ならではの感性を大事にして取り組む必要があるということ。「デジタル・シティズンシップ」では、現代のようなデジタル社会に積極的に参加するための能力を育むための教育で、これまで情報モラル教育では「してはならないこと」ばかりを強調してきたが、それをすり抜けて情報は届いていることから、多様性のなかで積極

的にデジタルツールを活用して、自己判断する力を高める必要があること。「主体的・対話的で深い学び」については、これまでも広く使われていますので省かせていただきます。「個別最適な学びと協働的な学び」では、指導の個別化と学習の個性化を図りながら協働的な学びをサイクルで回していくことで、これまでの学びが変化してくること。「STEAM教育」では、科学(Science)のS、技術(Technology)のT、工学(Engineering)のE、芸術(Art)のA、数学(Mathematics)のM、これらの頭文字を合わせたものが「STEAM教育」だそうですが、これらを横断した学術的なアプローチで、実社会の問題を発見し解決策を考えることで、子どものわくわく感を止めず、社会に出てからも使える学びにすること。「アジャイル型政策形成」とは、何が正解かやってみなければ分からない変化の激しい社会への対応として、結論を出してから取り組むのではなく、実施しながら考えていくこと、などと話されました。以上でございます。

内村委員：はい。ありがとうございました。胸元委員お願いします。

胸元委員：報告させていただきます。

5月11日、花田小学校の学校訪問に行きました。花田小学校の子ども達は登下校時のマナーがとても良く、道路横断後に車に向かって頭を下げてくれるなど、中学生になっても続けている姿を見かけます。先生方に加え、地域の方々の指導が行き届いていると感じる校区です。授業参観では、子ども達はにこやかに授業を受けていて、学校が安心して生活できる場であることが伝わりました。学校生活アンケートには、前年度の3学期から現在に至るまで、全学年「特に嫌な思いをしたことはない」と回答しており、落ち着いた学校生活を送れているようです。アンケート結果だけに安心することなく、子ども達の行動や表情、言動などに目を向け、耳を傾けつつ心身の成長を促してほしいと思いました。

5月17日、令和4年鹿児島県市町村教育委員会連絡協議会定期総会に出席いたしました。「令和の時代に新しく求められる教育について」と題した鹿児島県教育庁義務教育課長の加藤氏の講演がありました。講演の中で指導の個別化、学習の個性化を話され、知識等の伝授は動画やAIドリルなどにより、家庭学習を中心に効率的に学習し、学校ではそれを基にした課題解決や対話学習を

中心に行う反転学習について触れていました。子ども達がタブレット端末を持ち帰るようになれば、このような学習方法を取り入れるなど、家庭学習の選択や改善・定着につながるのではないかと思います。以上です。

内村委員：はい。ありがとうございます。私の方から報告させていただきます。

4月21日は、日吉地域のせつぺとべ活性化実行委員会総会に出席しました。例年は日吉地域の8自治会がそれぞれのお田植え踊りを小中学生が、夜3週間程練習して、祭り当日、八幡神社や鬼丸神社で奉納したあと、地域を回って披露しますが、コロナ感染防止の為、今年も3年連続中止と決まりました。小中学生にとっては、伝統芸能の伝承と地域住民との触れ合う機会がなくなったことは誠に残念です。来年はコロナが終息して、開催できるよう願っております。

4月28日は、特別国民体育大会 燃ゆる感動 かごしま国体日置市実行委員会 総務・企画専門委員会に出席しました。国体の会期は令和5年10月7日～17日までの11日間です。日置市開催競技は、軟式野球競技とレスリング競技です。軟式野球は伊集院総合運動公園野球場と東市来運動公園野球場とその他4会場で、10月13日～10月16日の期間、成年男子32チームが参加して競技が公開されます。レスリング競技は、成年男子、女子、少年男子が、国体前の9月21日～9月24日の期間、フリースタイルとグレコローマンスタイルに分かれて、吹上浜公園体育館で開催されますので、とても楽しみです。私も、かごしま国体日置市運営ボランティアとして、参加を予定しています。

5月11日の花田小学校については中島委員、胸元委員が詳しく述べましたので割愛します。また5月17日の鹿児島県市町村教育委員会連絡協議会についても、鶴木委員、胸元委員が紹介されましたが、1点補足をしたいと思います。まず原之園会長のあいさつがあり、そのなかでDXについて、鹿児島県で鹿児島銀行がDX推進事業者認定されたと報道があったと話されました。またDXとはデジタルトランスフォーメーションといい、AI、人工頭脳、ICTのテクノロジーをどんどん使って国を盛り上げて、人々の生活を豊かにしていきましょと。これは全世界的に進め

られています。ただ日本はそれに遅れているので、今小中学校でギガスクールなどを進めています。世界ではG A F A（ガーファ）と呼ばれるグーグル・アップル・フェイスブック・アマゾンなどの大企業が日本にはないため、3年後は2025年の崖と言われています。このままでは将来的に職を失い貧困に陥る可能性があります。DXに耐えて解決するためには、教育が必要と強く言われています。教育に携わる者は子ども達の将来のために危機感をもって、義務と責任を果たしていきましょう、と話されました。あとはお二人の委員の方が話されましたので、私からは割愛いたします。

これで教育委員の報告を終わります。

4 議事

【報告第8号 日置市教職員住宅管理規程の一部改正について】

内村委員：今日の議題に入ります。報告第8号 日置市教職員住宅管理規程の一部改正について説明をお願いします。事務局長をお願いします。

久木崎局長：それでは報告第8号について説明をいたしますが、まず初めに議案の修正をお願いします。1ページをお開きください。表題の「日置市教職員住宅管理規程の一部を改正する訓令」の次です。「の一部改正」を消していただきたいと思います。削除後が「日置市教職員住宅管理規程の一部を改正する訓令について」という報告事項になりますので、よろしく願いいたします。

それではご説明をいたします。日置市教職員住宅管理規程の一部を改正する訓令について、臨時に代理し、別紙のとおり改正したので、日置市教育委員会の行政組織等に関する規則第24条第2項の規定によりこれを報告するものであります。

教職員住宅の老朽化により用途を廃止し、普通財産として財政管財課へ所管替えを行ったものでございまして、別表の鶴丸小学校校長住宅の項、伊集院北中学校教頭住宅の項、永吉小学校校長住宅及び永吉小学校教頭住宅の項を削るものでございます。なお施行日を令和4年4月1日としております。以上で説明を終わります。ご審議方よろしく願いいたします。

内村委員：はい、ありがとうございます。この件につきまして、委員の皆様方からご質問等はございませんか。

(特になし)

よろしいですか。

(特になし)

それでは、ただいまの報告第8号は承認していただけますか。

(異議なし)

では承認といたします。

【報告 第8号 承認】

【報告第9号 日置市体育施設条例の一部を改正する条例の施行期日を定める規則の制定について】

内村委員：次に、報告第9号 日置市体育施設条例の一部を改正する条例の施行期日を定める規則の制定について説明をお願いします。恒吉教育振興課長、お願いします。

恒吉課長：はい、4ページをご覧ください。報告第9号 日置市体育施設条例の一部を改正する条例の施行期日を定める規則の制定について、日置市教育委員会の行政組織等に関する規則について、臨時に代理し、別紙のとおり改正しましたので、日置市教育委員会の行政組織等に関する規則第24条第2項の規定によりこれを報告するものです。

5ページをご覧ください。日置市体育施設条例の一部を改正する条例の施行期日を定める規則、日置市体育施設条例の一部を改正する条例（令和4年日置市条例第11号）の施行期日は、令和4年5月14日とする、としております。この規則は東市来ドームの供用開始に伴うものです。ご審議をよろしくお願いいたします。

内村委員：はい、ありがとうございます。ただいま説明のとおりでございます。ご質問等ございますか。

(特になし)

よろしいですか。

(特になし)

それでは、報告第9号は承認されました。

【報告 第9号 承認】

【報告第10号 日置市社会教育委員の任命について】

内村委員：続きまして、報告第10号 日置市社会教育委員の任命について説明をお願いいたします。立和名課長。

立和名課長：はい。報告第10号 日置市社会教育委員の任命について、でございます。日置市社会教育委員について別紙のとおり任命し、臨時に代理したので、日置市教育委員会の行政組織等に関する規則第24条第2項の規定によりこれを報告するものでございます。

7ページが社会教育委員の名簿になっております。任期は令和3年8月1日～令和5年7月31日まででございますが、1～3番目の学校教育関係者、この3名の方々が、年次移動等で変更となっておりますので、任命をするものでございます。以上でございます。ご審議よろしくをお願いいたします。

内村委員：はい、ありがとうございます。ただいま説明のあったとおりでございます。皆さんご質問等はございませんか。

(特になし)

よろしいですか。

(特になし)

それでは、報告第10号も承認されました。

【報告 第10号 承認】

【報告第11号 日置市スポーツ推進審議会委員の任命について】

内村委員：続きまして、報告第11号 日置市スポーツ推進審議会委員の任命について説明をお願いいたします。

立和名課長：はい。それでは報告第11号は、日置市スポーツ推進審議会委員の任命について、でございます。日置市スポーツ推進審議会委員について、別紙のとおり任命し、臨時に代理したので、日置市教育委員会の行政組織等に関する規則第24条第2項の規定によりこれを報告するものでございます。

9ページが委員の名簿でございますが、これまでの任期が令和2年4月1日～令和4年3月31日まででしたので、任期がきたことから、新たに令和4年4月1日～令和6年3月31日までの2年間を任期とする委員を任命したものでございます。以上、ご審議よろしくをお願いいたします。

内村委員：はい、ありがとうございます。ただいま説明のあったとおりでございます。皆さんよろしいでしょうか。

鵜木委員：1つよろしいでしょうか。令和4年4月1日ということは、すでに一カ月以上経過しているわけですが、実際は私達がこういうかたちで承認することになります。奥教育長のほうから「臨時に任命して代理したので」とあり、「これですでに決定しています」ということですが、私達はここで追承認するかたちでしょうか。

立和名課長：はい。報告ということです。

鵜木委員：分かりました。

宮前補佐：本来ならば、委員を任命する前に教育委員会のほうにお預かりさせていただいて、議案として提案をさせていただいたうえで、議決後任命をする、というかたちが適当と思っておりますが、人事異動の絡みですとか、各所属団体等の任命の状況などで、今回の報告となっております。昨年も同様の対応をさせていただきました。ただ案件によってはご指摘のとおり、議案として提案すべきものも報告として挙げている部分もございますので、今後はできるだけ議案として提案できるよう努めてまいりたいと考えております。以上でございます。

内村委員：はい、ありがとうございます。よろしいでしょうか。

鵜木委員：はい、確認でした。

内村委員：それでは、報告第11号につきましても承認されました。

【報告 第11号 承認】

【報告第12号 地方自治法施行令(昭和22年政令第16号)第158条第1項の規定による徴収の事務の委託について】

内村委員：続きまして、報告第12号 地方自治法施行令(昭和22年政令第16号)第158条第1項の規定による徴収の事務の委託について説明をお願いいたします。

立和名課長：はい。それでは、報告第12号 地方自治法施行令第158条第1項の規定による徴収事務の委託について、でございます。日置市教育委員会の行政組織等に関する規則第24条第1項の規定により、別紙のとおりについて、地方自治法施行令第158条第1項の規定による徴収の事務の委託について、臨時に代理したので、同上第2

項の規定により、これを報告するものでございます。

11ページに徴収事務を委託した者の氏名、歳入の種類について記載してございます。歳入の種類としましては、日置市公民館条例第7条に規定する使用料でございます。委託の相手方としましては、5名記載してございますが、東市来中央公民館分でございます。委託期間は令和4年4月1日～令和5年3月31日まででございます。以上、ご審議よろしくお願いいたします。

内村委員：はい、ありがとうございました。ただいま説明があったとおりでございます。皆さんから何かご質問等ございませんか。

(特になし)

よろしいですか。

(特になし)

それでは、報告第12号も承認されました。

【報告 第12号 承認】


5 その他

- (1) 事務局長
- (2) 学校教育課長
- (3) 社会教育課長
- (4) 各支所教育振興課長
 - ア 東市来支所教育振興課長
 - イ 日吉支所教育振興課長
 - ウ 吹上支所教育振興課長
- (5) その他

6 閉会

内村委員：以上で本日は全て終了しました。皆さんご協力ありがとうございました。また、1日も早く奥教育長が復帰されることを願っております。本日はどうもありがとうございました。

終了

署名委員 内村友治 

署名委員 中島辰夫 